

## 中野植物園 (小樽市)

小樽市



内外の珍しい樹木を植え込んでいる庭園部分。右手には、源山という自然林のエリアもある

## 時代を超えて維持されている憩いの空間

地元で蕎麦屋を営んでいた中野鹿蔵氏が、日露戦争終結後に益々状況を呈していた小樽において、大衆公園、家族的遊園地が必要であると考え、教育的見地を主とし、保健的施設も備えた植物園を近郊の丘陵地に個人で整備して1908(明治41)年に開設した。

小中学校の遠足、家族や職場などの行楽の場として利用され、開設以来、小樽市民に親しまれ続けている。約30基ある遊具の大半は、戦前に地元の鍛冶屋に依頼して作られたもの。毎年ペンキを塗りながら維持されており、他では見ることができない極めてユニークなものが多い。

家族経営で100年以上も存続していることは特筆に値する。地域の方々の思い入れが籠る遊園地であり、文化的、歴史的価値が高く、市街地の良好な生態系の維持にも貢献している。



「体育乃至精神的修養」のために設置された「廻轉乗物」

## 概要

名称	中野植物園
所在地	小樽市清水町26-30
管理者	中野平八郎
規模	約50,000㎡
種別等	私設植物園
開設年	1908(明治41)年

1972(昭和47)年北海道環境緑地保護地区、1994(平成6)年小樽市指定保全樹林



毎年ペンキを塗り重ねているので、約80年経ても現役のまま使用できる